

社員選挙 立候補者届出状況

| 受付番号 | 氏名 | 所属（※立候補日現在） | 立候補所信 |
|------|--------|------------------------------------|--|
| 1 | 田邊 思帆里 | 国立医薬品食品衛生研究所 | 引き続きレギュラトリーサイエンスの発展に貢献できると幸いです。 |
| 2 | 有賀 淳 | 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 | 東京女子医科大学・早稲田大学共同大学院にて医療レギュラトリーサイエンス研究の博士課程大学院講座を担当しております。開講8年の現在まで82名の大学院生が入学し、レギュラトリーサイエンス研究の原著英語論文52編を発表しており、医療レギュラトリーサイエンスの学問体系の構築に努めております。 |
| 3 | 中江 大 | 東京農業大学 応用生物科学部食品安全健康学科 | 機会を与えていただければ、経験と専門性を活かして、一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会の活動に貢献したいと考えます。 |
| 4 | 齋藤 充生 | ヘルスヴィジランス研究会 | これまでレギュラトリーサイエンスの実践、研究を行ってきました。学会の発展のため、微力をつくしたいと思います。 |
| 5 | 松村 一 | 東京医科大学病院 形成外科・医療情報室 | 臨床外科系医師として、医療現場と産学官の架け橋の役を担いたいと思い、評議員に立候補いたします。医薬品、医療機器等の品質・安全性・有効性を確保するためのレギュラトリーサイエンスを更に発展させ、レギュラトリーサイエンス自体を国民へ普及させていきたいと考えています。 |
| 6 | 須崎 正和 | 大日本住友製薬株式会社 薬事部 | なし |
| 7 | 永井 純正 | 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 遺伝子治療開発分野 | PMDA在職中から現在も抗癌剤とコンパニオン診断薬の薬事規制に携わっており、特に血液・腫瘍内科を専門としております。これまでも学術大会での講演や評議員として本学会に寄与してまいりましたが、引き続き薬事規制とTRに精通する臨床医として本学会に貢献してゆく所存です。 |
| 8 | 松田 勉 | 興和株式会社 | なし |
| 9 | 菊地 主税 | ファイザー株式会社 | レギュラトリーサイエンスの発展のために、貢献したいと考えております。 |
| 10 | 今村 攻 | 国立ナミビア大学 | 3期目となりますが、レギュラトリーサイエンス学会の趣旨に基づいて引き続き活動して参りたいと存じます。皆さまのご指導ご鞭撻を何卒、よろしくお願い申し上げます。 |
| 11 | 桐野 豊 | 徳島文理大学 | 大学薬学部の教員として、レギュラトリーサイエンスの考えを広めることに尽力したい |
| 12 | 菅谷 勉 | ノーベルファーマ株式会社 | RS学会では、おそらくマイノリティの社会科学系のバックグラウンドの一人です。微力ながら、社会的見地から、引き続きRS学会の発展にお役に立ちたいと思います。 |
| 13 | 木野 孝一 | 大日本住友製薬株式会社 | なし |
| 14 | 小村 純子 | 摂南大学 | レギュラトリーサイエンス学会の知名度の向上、学会の発展に微力ながら貢献できればと思います。 |

社員選挙 立候補者届出状況

| 受付番号 | 氏名 | 所属（※立候補日現在） | 立候補所信 |
|------|-------|-----------------------------|---|
| 15 | 諫田 泰成 | 国立医薬品食品衛生研究所 | 私はヒトiPS細胞の創薬応用などに関わるレギュラトリーサイエンス研究に従事しております。最新の科学技術をもとにして、より安全でより有効な医薬品を一刻も早く社会に還元するため、産官学で連携しながらレギュラトリーサイエンス研究に取り組んでおります。微力ながらレギュラトリーサイエンス学会に協力させていただきたく、立候補いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。 |
| 16 | 野元 正弘 | 愛媛大学大学院 | なし |
| 17 | 戸高 浩司 | 九州大学病院 | 臨床医、基礎研究者、PMDA審査官OB、橋渡し拠点・臨床研究中核病院教員としての豊富な経験を生かして、社会と調和する規制科学の推進など本学会の発展に寄与する所存です。 |
| 18 | 野口 隆志 | 昭和大学 | 開設より会員として各セミナーに参加してきました。今後の企画・立案等のお手伝いが出来ればと思います。 |
| 19 | 赤座 英之 | 東京大学大学院 | アカデミアの立場から、癌医療の均てん化に向けて活動しており、また、UICC-AROとしてもアジアの癌医療の均てん化に取り組んでおります。これらの立場から、本学会において引き続き社員（評議員）として貢献出来ればと思います、立候補をいたします。 |
| 20 | 久津見 弘 | 滋賀医科大学 | 20年以上消化器内科医として臨床ならびに医療機器開発に携わった後、臨床担当スペシャリストとしてPMDAで医療機器ならびに医薬品の審査等を2010年から2年余り経験した。2015年から、臨床研究の支援をする立場で業務をしている。この経験を活かし本学会のために尽力するとともに、医師の本学会会員を増やしていきたい。 |
| 21 | 鈴木 啓介 | 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター | 認知症や神経難病の臨床研究に関与してきた経験を活かし、本邦におけるレギュラトリーサイエンスの発展に寄与できればと考えています。どうぞ宜しくお願いいたします。 |
| 22 | 荒川 義弘 | 筑波大学附属病院 つくば臨床医学研究開発機構 | なし |
| 23 | 益山 光一 | 東京薬科大学 | なし |
| 24 | 山根 隆志 | 神戸大学 | 産業技術総合研究所における人工心臓をはじめとする医療機器の技術研究開発経験と、医薬品医療機器総合機構における医療機器審査経験、また神戸大学工学研究科における医療機器に関する人材教育経験を生かし、実用化をめざす医療機器の研究開発とレギュラトリーサイエンス構築をライフワークとして、学会における人材育成、産業支援に尽力したいと思います。 |
| 25 | 国忠 聡 | 第一三共株式会社(日本製薬工業協会 医薬品評価委員会) | 最新の薬事制度改革に関して業界を代表して意見具申・提言を行いたく、RS学会社員に立候補します。 |
| 26 | 佐藤 光利 | 明治薬科大学 | |
| 27 | 成川 衛 | 北里大学大学院薬学研究科 | レギュラトリーサイエンスの普及と発展のために努力いたします。 |
| 28 | 渡邊 伸一 | 帝京平成大学 | なし |

社員選挙 立候補者届出状況

| 受付番号 | 氏名 | 所属（※立候補日現在） | 立候補所信 |
|------|--------|-------------------|--|
| 29 | 岩崎 清隆 | 早稲田大学 | 研究面では、先進的医療機器の開発の迅速化と市販後の治療効果向上とリスク低減に寄与する、実臨床を模した先進的非臨床試験法の開発を引き続き行っていく。教育面では、東京女子医科大学と早稲田大学のレギュラトリーサイエンスを研究分野とした博士課程の共同大学院において、産官学の人材育成に注力している。本学会の先生方、関係諸氏とともにレギュラトリーサイエンスの学問の発展と社会実装に取り組んでいきたい。 |
| 30 | 長野 一也 | 大阪大学 | レギュラトリーサイエンスの推進に貢献いたしたく、立候補させていただきました。 |
| 31 | 石井 明子 | 国立医薬品食品衛生研究所 | 国立衛研にて、バイオ医薬品に関するレギュラトリーサイエンス研究に従事しております。科学技術の成果を医薬品として結実させ、社会に迅速かつ的確に還元するため、産官学の連携のもと、レギュラトリーサイエンスに関する学術の進歩と普及を図ることは、非常に重要な課題であると考えます。レギュラトリーサイエンス研究の中核をなす本学会の活動に微力ながら協力させていただくことで、社会にも貢献したいと考えております。 |
| 32 | 細木 るみこ | 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 | レギュラトリーサイエンスの推進に、微力ではございますが尽力したいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。 |
| 33 | 柏谷 祐司 | 武田薬品工業株式会社 | なし |
| 34 | 渡邊 裕司 | 浜松医科大学 | 臨床薬理学の視点を活かして、レギュラトリーサイエンス学会の発展に尽くしたいと存じます。 |